

## 途上国ニーズと民間技術マッチングに係る情報収集・確認調査 審査基準表

書類選考		
大項目	中項目	評価の視点
<b>提案製品/ 技術概要 (30点)</b>	国内外での販売実績/ プロトタイプ実証実績	製品/技術の国内外での販売実績があるか プロトタイプがあり、既に実証段階を終えているか
	製品/技術の比較優位性	現在製品を展開しているマーケットにおいて、他社品と比べて優位性があるか
	製品/技術の先進性・革新性	現在製品を展開しているマーケットにおいて、製品・技術が先進的・革新的 <sup>※</sup> なものか これまでにない新規性があるか ※革新性、先進性：これまでになかった技術や仕組みを打ち出すことで既存の仕組みや在り方を一変させること
	【保健医療・福祉分野のみ】 対象国における提案製品/技術の 規制・許認可	規制・許認可によるビジネス展開の影響はないか
<b>課題への 貢献可能性 (35点)</b>	課題解決の蓋然性	提案されている製品・技術は対象課題の解決に貢献できる蓋然性が高いか
	課題へのインパクト	対象課題解決に対して質的・量的にインパクトを与えることができるか
	多様性についての考慮	本応募事業が多様性 <sup>※</sup> のインクルーシブに資するか ※全ての性(男女のジェンダーバランス含む)、障がい者、高齢者等
<b>ビジネス展開計画 (35点)</b>	ビジネスモデルの妥当性	ビジネスモデルが十分に検討されていて妥当性が高いか
	実現可能性	製品・サービスが現地環境に適合しており、ビジネスの実現性は高いか
	事業の実施体制	海外展開に必要な体制（人員体制、言語力、ネットワーク）が構築されているか
	検証計画の妥当性	調査の参加目的が明確であり、現実的なゴールであるか
<b>加点対象 (20点)</b>	投資ファンドからの出資有無	同左
	スタートアップに該当するか	①創業10年程度であるか ②未上場であるか ③成長産業領域において、革新的な事業活動を行っているか
	社内での ワークライフバランス配慮	企業自身が多様性のインクルーシブに対する取り組みを行っているか
<b>合計 (120点)</b>		
プレゼン選考		
<b>企業</b>	事業責任者の資質	事業責任者の海外進出にかかるモチベーション、リーダーシップが高いか
	海外進出の動機	企業としての海外進出の動機と意欲は高いか
<b>合計 (10点)</b>		